

# 親密な接触とサル痘について 知っておくべきこと

サル痘はサル痘ウイルスによる感染症です。サル痘感染者と密接に個人的な接触をした人は誰でも感染のリスクがあります。

## サル痘はどのように感染しますか？

サル痘は感染者と密接・親密な接触、及び/または長時間にわたり接触のあった場合に感染するということが明らかになっています。その例は以下のような状況です：

- 性交時やそのほかの密接な接触中に感染者の発疹、かさぶた、ただれなどに直接肌と肌が触れた場合。その例にはキス、マッサージ、愛撫などが挙げられます。
- サル痘患者の使用後に洗われていない物や布製品と接触する(洗濯されていない衣類や寝具、タオルや性具の共有など)。
- 気道分泌液に触れる。感染者との接近した対面での飛沫への長時間の暴露や、キス、愛撫や性行為などの密接な接触により起こる可能性があります。

サル痘感染者は症状が出始めてから発疹が治まり、かさぶたが剥がれ落ちて新しい皮膚が再生されるまでは、ほかの人に感染させる可能性があるとしてされています。これには通常2~4週間かかります。

サル痘に感染している妊娠中の方は胎盤を経由して胎児に感染させてしまう危険性があります。

サル痘患者と軽く会話を交わしたり、そばを通りかかっただけでは**サル痘には感染しません**。

## サル痘を予防するためには

- サル痘の症状が見られる人との肌と肌の接触や長時間の密接な接触を避ける。
- サル痘の症状が見られる人の使用後に洗われていない物や製品を触らない。
- 手洗いを頻繁にする。
- 対象者はワクチン接種を受ける。

## 性行為や密接な接触時にリスクを低減するためには

- 最近発症した病気や**今までにないような、原因不明のただれや発疹**が性器や肛門にある場合は性的パートナーと話し合う。あなたやあなたのパートナーにサル痘の症状が見られる、またはサル痘と診断された場合、性行為や肌と肌が触れ合うような状況は避けましょう。
- コンドームを使用する。コンドームだけではサル痘予防に十分ではありませんが感染リスクの低減や肛門、口、性器など敏感な部位にできるただれの予防にはなるかもしれません。
- 性的パートナーの数を減らす。
- 身元が不明な人との性行為やセックスパーティーなどリスクの高いことをしない。

今までにないような、原因不明の発疹や皮膚病変が身体の一部に出た場合は、直ちに**医師に連絡しましょう**。サル痘患者やサル痘の疑いのある人物と接触のあった場合に特に重要です。

### かかりつけ医がいない場合:

- 公衆衛生局1-833- 540-0473（毎日午前8時~午後8時半まで受付）までお電話ください。
- お近くの**公衆衛生セクシャルヘルスクリニック**をお訪ね下さい。

QRコードを読み取ると場所の検索ができます。



サル痘の詳細については以下のサイトをご覧ください:

[ph.lacounty.gov/Monkeypox](https://ph.lacounty.gov/Monkeypox)

Monkeypox: Intimate Contact 8/31/2022



COUNTY OF LOS ANGELES  
**Public Health**